

店舗連載



イムダイン

イムダインは、六本木ヒルズ・ムダイン、東京都港区、ウエストウォーク4階に21・35㎡の店舗を構える。健康食品の製造・販売会社のイムダインが今年3月22日にオープンした。壁はモスグリーン、オレンジの床に真っ白な什器。そこに商品がゆったりと置かれている。扱うのは26品目。店内に高

級感が漂っている。少し低い白色のテーブルと椅子が3脚用意されている。カウンセリング席だ。初めての顧客には、「パーソナルカルテ」に記入してもらう。サプリメントの購入目的や利用頻度などがわかる。2回目からは、会話しながら得た情報を電子カルテにストックしていく。購入1ヵ月後くらいに「どうでしたか」と摂取の感想を聞く。断食プログラム実施中の顧客には、サポートメールや体

健康食品の売れ筋ベスト10

順位	商品名	内容量	価格	主な素材
1	ナトフォース コラーゲンプレミアム	50mg×7本	8,820円	フィッシュコラーゲン
2	ナトフォース コラーゲンベーシック	490mg	7,245円	フィッシュコラーゲン
3	ファステンスポート	1000mg	6,720円	濃縮フルーツ果汁
4	イミュステル	410mg×30粒	11,970円	β-グルカン
5	フェルメイト	340mg×90粒	7,350円	穀物発酵エキス
6	ハイドロ・プラス	370mg×90粒	6,930円	サンゴカルシウム
7	フロラミンユージェナ	430mg×90粒	6,930円	ユージェナ
8	シトラスフォースプラス	250mg×270粒	6,930円	シトラスエキス
9	イムノプラス	320mg×60粒	7,980円	β-グルカン
10	ヴォイススクレール	470mg×60粒	15,750円	アスタキサンチン

イムダインは、インブルーブドガーデンの店で10年前に六本木ヒルズのオープンと同時に開店。6年

顧客は90%が30〜60代の女性で、遠方からやってくる人もいる。10%の男性客は40〜50代の働き盛りがメインだ。ここでの健康食品の売れ筋ベスト10は表のように紹介された。1・2位はコラーゲン。3・7・8位がダイエツト。5位は今年6月発売の酵素サプリ。6位は昨年6月発売の水素のサプリ。4位と9位がβ-グルカンをメインにビタミンDや小麦発酵抽出物などを配合したもの。男性の熱狂的な愛用者がいる。10位は声の美容のためのサプリメント。

1位「ナトフォース コラーゲンプレミアム」 電子カルテで顧客の健康状態一目瞭然に

イムダインは、六本木ヒルズ・ムダイン、東京都港区、ウエストウォーク4階に21・35㎡の店舗を構える。健康食品の製造・販売会社のイムダインが今年3月22日にオープンした。壁はモスグリーン、オレンジの床に真っ白な什器。そこに商品がゆったりと置かれている。扱うのは26品目。店内に高級感が漂っている。少し低い白色のテーブルと椅子が3脚用意されている。カウンセリング席だ。初めての顧客には、「パーソナルカルテ」に記入してもらう。サプリメントの購入目的や利用頻度などがわかる。2回目からは、会話しながら得た情報を電子カルテにストックしていく。購入1ヵ月後くらいに「どうでしたか」と摂取の感想を聞く。断食プログラム実施中の顧客には、サポートメールや体

イムダイン

級感が漂っている。少し低い白色のテーブルと椅子が3脚用意されている。カウンセリング席だ。初めての顧客には、「パーソナルカルテ」に記入してもらう。サプリメントの購入目的や利用頻度などがわかる。2回目からは、会話しながら得た情報を電子カルテにストックしていく。購入1ヵ月後くらいに「どうでしたか」と摂取の感想を聞く。断食プログラム実施中の顧客には、サポートメールや体

調同いのメールを送るなど、きめ細やかにサポートしている。実は10年来の顧客も多い。

顧客は90%が30〜60代の女性で、遠方からやってくる人もいる。10%の男性客は40〜50代の働き盛りがメインだ。ここでの健康食品の売れ筋ベスト10は表のように紹介された。1・2位はコラーゲン。3・7・8位がダイエツト。5位は今年6月発売の酵素サプリ。6位は昨年6月発売の水素のサプリ。4位と9位がβ-グルカンをメインにビタミンDや小麦発酵抽出物などを配合したもの。男性の熱狂的な愛用者がいる。10位は声の美容のためのサプリメント。

顧客は90%が30〜60代の女性で、遠方からやってくる人もいる。10%の男性客は40〜50代の働き盛りがメインだ。ここでの健康食品の売れ筋ベスト10は表のように紹介された。1・2位はコラーゲン。3・7・8位がダイエツト。5位は今年6月発売の酵素サプリ。6位は昨年6月発売の水素のサプリ。4位と9位がβ-グルカンをメインにビタミンDや小麦発酵抽出物などを配合したもの。男性の熱狂的な愛用者がいる。10位は声の美容のためのサプリメント。

シカゴからウォーナー(ウイスコンシン州)行きの飛行機でおよそ1時間。アメリカ人参生産の代表的な街、マランソンがある。米国中西部の最大な農場が広がる、緑に溢れた美しい街である。冬は寒いが、夏は24

で、不作となった。それほどアメリカ人参の生育

顧客は90%が30〜60代の女性で、遠方からやってくる人もいる。10%の男性客は40〜50代の働き盛りがメインだ。ここでの健康食品の売れ筋ベスト10は表のように紹介された。1・2位はコラーゲン。3・7・8位がダイエツト。5位は今年6月発売の酵素サプリ。6位は昨年6月発売の水素のサプリ。4位と9位がβ-グルカンをメインにビタミンDや小麦発酵抽出物などを配合したもの。男性の熱狂的な愛用者がいる。10位は声の美容のためのサプリメント。

顧客は90%が30〜60代の女性で、遠方からやってくる人もいる。10%の男性客は40〜50代の働き盛りがメインだ。ここでの健康食品の売れ筋ベスト10は表のように紹介された。1・2位はコラーゲン。3・7・8位がダイエツト。5位は今年6月発売の酵素サプリ。6位は昨年6月発売の水素のサプリ。4位と9位がβ-グルカンをメインにビタミンDや小麦発酵抽出物などを配合したもの。男性の熱狂的な愛用者がいる。10位は声の美容のためのサプリメント。

「高品質であること」—他のアメリカ人参との差別化が重要

顧客は90%が30〜60代の女性で、遠方からやってくる人もいる。10%の男性客は40〜50代の働き盛りがメインだ。ここでの健康食品の売れ筋ベスト10は表のように紹介された。1・2位はコラーゲン。3・7・8位がダイエツト。5位は今年6月発売の酵素サプリ。6位は昨年6月発売の水素のサプリ。4位と9位がβ-グルカンをメインにビタミンDや小麦発酵抽出物などを配合したもの。男性の熱狂的な愛用者がいる。10位は声の美容のためのサプリメント。

顧客は90%が30〜60代の女性で、遠方からやってくる人もいる。10%の男性客は40〜50代の働き盛りがメインだ。ここでの健康食品の売れ筋ベスト10は表のように紹介された。1・2位はコラーゲン。3・7・8位がダイエツト。5位は今年6月発売の酵素サプリ。6位は昨年6月発売の水素のサプリ。4位と9位がβ-グルカンをメインにビタミンDや小麦発酵抽出物などを配合したもの。男性の熱狂的な愛用者がいる。10位は声の美容のためのサプリメント。

緯度は北海道の網走とほぼ同じ

北に位置し、カナダに近す。訪問した9月の段階で、すでに肌寒さがある。緯度としては北海道の網走とほぼ同じだ。大な農場が広がる、緑に溢れた美しい街である。冬は寒いが、夏は24

で、不作となった。それほどアメリカ人参の生育

顧客は90%が30〜60代の女性で、遠方からやってくる人もいる。10%の男性客は40〜50代の働き盛りがメインだ。ここでの健康食品の売れ筋ベスト10は表のように紹介された。1・2位はコラーゲン。3・7・8位がダイエツト。5位は今年6月発売の酵素サプリ。6位は昨年6月発売の水素のサプリ。4位と9位がβ-グルカンをメインにビタミンDや小麦発酵抽出物などを配合したもの。男性の熱狂的な愛用者がいる。10位は声の美容のためのサプリメント。

顧客は90%が30〜60代の女性で、遠方からやってくる人もいる。10%の男性客は40〜50代の働き盛りがメインだ。ここでの健康食品の売れ筋ベスト10は表のように紹介された。1・2位はコラーゲン。3・7・8位がダイエツト。5位は今年6月発売の酵素サプリ。6位は昨年6月発売の水素のサプリ。4位と9位がβ-グルカンをメインにビタミンDや小麦発酵抽出物などを配合したもの。男性の熱狂的な愛用者がいる。10位は声の美容のためのサプリメント。

10月15日号掲載の連載第1回目では米国ウイスコンシン州で生産されるアメリカ人参「ウイスコンシン・ジンセン」(※直輸入窓口「皇漢薬品研究所」東京都千代田区、03-3386-1384)の歴史や機能性についての概要を解説した。今回は実際、現地に多数ある生産者を代表する業界団体「ウイスコンシン・ジンセン協会」の役割や、協会が目指している方向性などについて紹介する。(編集部・花里)

25℃の日が多く、暑すぎることはない。年間を通じての降雨量は多くない。このような気候は、生育に難しいと言われるアメリカ人参に非常に適している。反面、少しでも環境が変わると育たなくなることもある。3年前には大雪が降ったこと

顧客は90%が30〜60代の女性で、遠方からやってくる人もいる。10%の男性客は40〜50代の働き盛りがメインだ。ここでの健康食品の売れ筋ベスト10は表のように紹介された。1・2位はコラーゲン。3・7・8位がダイエツト。5位は今年6月発売の酵素サプリ。6位は昨年6月発売の水素のサプリ。4位と9位がβ-グルカンをメインにビタミンDや小麦発酵抽出物などを配合したもの。男性の熱狂的な愛用者がいる。10位は声の美容のためのサプリメント。

顧客は90%が30〜60代の女性で、遠方からやってくる人もいる。10%の男性客は40〜50代の働き盛りがメインだ。ここでの健康食品の売れ筋ベスト10は表のように紹介された。1・2位はコラーゲン。3・7・8位がダイエツト。5位は今年6月発売の酵素サプリ。6位は昨年6月発売の水素のサプリ。4位と9位がβ-グルカンをメインにビタミンDや小麦発酵抽出物などを配合したもの。男性の熱狂的な愛用者がいる。10位は声の美容のためのサプリメント。

生育の気候条件は ウイスコンシン州が最適



世界が認める本場のアメリカ・ニンジンを追う



ウイスコンシン・ジンセン

人参だけでなく、トウモロコシや大豆などの大農場、牛が伸び伸びとしている放牧場が広がる。また、マランソンなどウイスコンシン州のいくつかの街は製紙業で栄えた。そのことから水の綺麗な地域であることもわかる。

理由として隣国カナダの生産農家が増えたこと。カナダは年間1300t生産していますが、我々は約320tにとどまっています」と述べた。その理由としてブッチ氏は「カナダ産は低価格であることが大きい。しかし、ウイスコンシン州産は他国産に比べ、味や品質で勝っているという点に自信があります」と述べた。

一方、トム・ハック次期理事長(※写真左)も「ウイスコンシン州で採れたアメリカ人参『ウィスコンシン・ジンセン』が、その代表的な役割を果たすのが「ウイスコンシン・ジンセン協会」である。マランソン市の一角には協会の本部がある。アメリカ人参を生産す

スコニン・ジンセン」は市場性が高く、需要はもっと高くなるだろうと思います。ただし、他の種類のニンジンと同じカナダのアメリカ人参との差別化が必要だと考えています」と話した。ブッチ氏によると協会としては現在、「安全な肥料の開発」「新しい市場開拓」「消費者への啓蒙」「医療関係へのサポート」に取り組んでいると言った。

特に消費者啓蒙は急務である。歴史的に中国人や香港人からの需要が高いが、協会関係者は一堂に日本市場向けへの供給拡大も期待する。協会が最も強調するのはアメリカ人参は血圧を上昇させる副作用がないこと、そして特に「ウイスコンシン・ジンセン」は品質が良いこと。これらのことをもっと多くの人に知ってほしいと訴える。ブッチ氏は「確かに今は中国・香港向けが圧倒的に多いです。しかし、日本での直輸入窓口である皇漢薬品研究所の関係者には何度もこのウイスコンシン州まで来て頂き、生産の現場を直に見て、良いものだと判断した上で販売に努めてきています。このことに感謝すると同時に『ウイスコンシン・ジンセン』がこんなに素晴らしい素材であることを多くの日本人に知ってほしい」と期待を込めた。



ブッチ氏



トム氏